

第2学年国語科学習指導案

日 時 平成 21年 10月 14日 (水) 6校時

児 童 男 5名 女 4名 計 9名

授業者 千田美佐

- 1、単元名 だいじなところに気をつけて読もう (光村2上)
教材名 主教材 「サンゴの海の生きものたち」
補助教材 科学のアルバム 「海のさかな」(あかね書房) 他

2、単元について

(1) 児童観

児童は、1学期教材の「たんぼぼのちえ」では、囲みやサイドラインを引く書く活動を取り入れて、時間的な順序や理由を示す言葉に着目し、その役割に気づくという学習をしてきた。そして、「み近な生きものちえ」にまとめる言語活動では、それについて調べ、学習した言葉や文型でまとめる学習に意欲的に取り組んできた。これらの学習を通し、時間的な順序、事柄の順序を正しく捉え、書かれていることの大体を読み取ることが少しずつ身に付いてきている。児童の読む能力には個人差が大きく、事柄の前後関係から内容の大体を理解したり、語句から豊かに想像したりする児童がいる一方で、すらすら音読できず、言葉の意味が分からないために書いてある内容もよく理解できない児童もいる。

昨年度1月に実施した第1学年での国語の学力検査(CRT)の結果では「読むこと」の正答率が76.9%(全国66.6%)と全国より高い結果だったが、順序や様子を読み取る問題では、文学的文章の一問で正答率22%(全国38%)、説明的文章の一問で正答率44%(全国40%)と低く、定着させていくことが必要である。

(2) 教材観

主教材は、海の生き物たちの共生の仕組みや不思議を具体例をあげながら述べている文章である。サンゴの海の生きものたちが、どんな関わり合いをしているのかという話題提示を受け、2組の生きものたちの具体例、まとめという文章構成になっている。書き出しと結びの関係がはっきりした典型的な説明的文章である。児童は海の生きものたちがどんな関わり合いをしているかを、美しい写真と文章を対応させながら、興味や関心を高め、段落毎の大事な言葉を押えて楽しく読むことができる。

以上のことから、児童がこれまで学習してきたことを生かして、大事なところに気をつけて内容の大体を読み取る方法を身に付けさせるのに適した教材であると考ええる。

(3) 指導観

本単元では、大事な言葉を押さえ、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を読み取る力を身に付けさせたいと考える。そのために、各段階において以下の点に留意して指導していく。

「つかむ」段階では、単元のゴールを「海の生きものずかん」を作ることとし、学習への目的意識を持たせる。

「ふかめる」段階では、読み取りの視点として、中心となる生き物の特徴、仕組みに着目させる。その上で、どんな関わり合いをしているのかを丁寧に読み取らせていく。その際、指示語、主語、述語、文末の「～のです。」

「～からです。」に注目させ、事実と理由を明らかにとらえさせながら、大事な言葉にサイドラインを引いたり、ワークシートの吹き出しに書き込んだりする書く活動を位置付ける。学び合いでは動作化を取り入れ、生き物同士の関わり合いを確認し、理解を深めていきたい。

「ひろげる」段階では、学んだことを生かし確かなものにするために、海の生き物の特徴や関わり合いについてのカードを作る活動を行う。図書資料等で調べ、大事なことを落とさないように、また事柄の順序や語と語、文と文との続き方、主語と述語の関係を意識させながら、まとめさせていきたい。

本校が作成した指導内容系統表において、本単元で重点的に指導する項目は、語①「主語・述語を見つけることができる」、語⑤「絵と文、写真と文を対応させる事ができる」構②「形式段落をとらえる事ができる」である。

3、単元の指導目標・評価規準

(1) 主目標

◎共生の仕組みの不思議に興味をもちながら、海の生き物たちがどのようにかかわり合っているか、大事な言葉を押えながら文章の大体を読み取ることができる。

(2) 観点別目標と評価規準

観 点	目 標	評 価 規 準
国語への関心・意欲・態度	○ 「サンゴの海の生きものたち」を読み、自分の知らない世界に興味をもつ。 ○ 図書資料を読んで「海の生きものずかん」を作ろうとする。	① 生き物の共生関係や説明文の組み立てに興味をもって読もうとしている。
読む能力	◎ 「サンゴの海の生きものたち」がお互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読むことができる。(イ)(エ) ○ 海の生き物について書かれた図書資料から、生きものカードに書く目的に必要なことや伝えたいことを考えながら読むことができる。(カ)	① 登場する生き物の特徴やかかわり合いなどについて、叙述に即して正確に読み取っている。 ② みんなで「海の生きものずかん」を作ることを目的にし、いろいろな図書資料から興味のある資料を探して読んでいる。
書く能力	○ 図書資料を読んで、生きものカードを書くことができる。(イ)(ウ)	① 海の生き物について、知りたい事を図書資料で探して調べ、事柄の順序、語と語や文と文との続き方に注意しながら、カードにまとめている。
言語についての知識・理解・技能	◎文の中における主語と述語との関係に注意することができる。(イ(カ)) ○ 片仮名を読んだり書いたりし、片仮名で書く語を文や文章で使うことができる。(ウ (ア))	① 主語と述語との関係に注意して、文を読んだり書いたりしている。 ② 片仮名を正確に読んだり書いたりしている。

4、単元の指導・評価計画 (10時間)

段階	時間	目 標	学 習 活 動 (・ 主な学習活動 ※ 指導上の留意点)	評 価 規 準 (評 価 方 法)
つかむ	1	海の生き物に興味をもって読み進め、学習の計画をたてることができる。	海の生きものずかんをつくるけいかくを立てよう。 ・ 題名、リード文から海の生き物について興味関心をもたせる。 ・ 海の生き物の本や写真を見て、海の生き物について知っていることを話し合う。 ・ 生きものカードを書きみんなで「海の生きものずかん」を作ることを知る。 ・ 新出漢字の練習をする。 ※ 海の生き物について知っていることを話し合うことで、教材への関心を高められるようにする。	[関①]題名やリード文から学習のめあてをつかみ、内容に興味をもって進んで読もうとしている。 (発言、観察)
	2	「サンゴの海の生きものたち」を読み、感想をもつことができる。	「サンゴの海の生きものたち」を読んでかんそうを話し合おう。 ・ 「サンゴの海の生きものたち」の全文を自分で読む。 ・ 初めて知ったことや驚いたこと、疑問に思ったことを書き、書いたことを交流する。 ※ 感想から学習課題を導き出すようにする。	[関①]初めて知ったことや驚いたこと、疑問に思ったことをノートに書いている。(ノート・発言)

ふかめる	3	問いの文を読み取り、文章の構成をつかむことができる。	<p>どんな問いがしめされているのでしょうか。(①、②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形式段落に分ける。 ・②段落から問いの文を見つけ、学習の仕方を知る。 ・形式段落を大きく3つのまとまりに分ける。 <p>※ 「問い」の文をしっかり読み取らせ、それに対する「答え」を求めながら、文章全体が「初め・中・終わり」の大きな3つに分かれていることを知り、次から本文を読み取っていくという学習の仕方を明確にさせる。</p>	[読①] 形式段落に分け、問いの文を見つけている。形式段落を大きな3つのまとまりに分けている。(観察・発言)
	4	イソギンチャクとクマノミの体の特徴を読み取ることができる。	<p>イソギンチャクやクマノミは、どんな生きものなのでしょうか。(③、④)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの体の特徴を読み取る。 <p>※ 指示語、主語・述語、文末に注意させ、読み取らせていく。</p>	[読①] [言②] 大事な言葉や文を見つけて、イソギンチャクとクマノミの特徴を読み取り、ワークシートにまとめている。(掛図、ワークシート、観察)
	5	イソギンチャクとクマノミの関わり合いについて読み取ることができる。	<p>イソギンチャクやクマノミは、どんななかかわり合いをしているのでしょうか。(⑤、⑥)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いが守り合っている関係であることを読み取る。 ・それぞれの生き物になったつもりで、吹き出しに書く。 <p>※ 体の特徴を思い出させ、イソギンチャクとクマノミそれぞれにとって、よいことを考えさせる。</p>	[読①] [言②] 大事な言葉や文を見つけて、イソギンチャクとクマノミがお互いに守り合っていることを読み取り、ワークシートにまとめている。(掛図、ワークシート、ペーパーサート、発言)
	6 (本時)	ホンソメワケベラと大きな魚たちの関わり合いについて読み取ることができる。	<p>ホンソメワケベラと大きな魚たちは、どんななかかわり合いをしているのでしょうか。(⑦、⑧、⑨)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの体の特徴を読み取る。 ・ホンソメワケベラと大きな魚たちがお互いにしていることとそのわけを読み取る。 ・それぞれの生き物になったつもりで、吹き出しに書く。 <p>※ 指示語、主語・述語、文末に注意させ、読み取らせていく。</p>	[読①] [言②] 大事な言葉や文を見つけて、ホンソメワケベラと大きな魚の特徴、関わり合いを読み取り、ワークシートにまとめている。(掛図、ワークシート、ペーパーサート、観察、発言)
	7	本文のまとめの文を読み、生き物たちの関わり合いを振り返り感想をもつことができる。	<p>海の生きものたちのかかわり合いをまとめよう。(⑩)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指示語「このように」の働きを考える。 ・文章構成を確認しながら、教材文に出てきた生き物の特徴や関わり合いなどについて振り返る。 ・他の生き物の特徴や関わりは、どうなっているか調べることを知る。 <p>※ 他の生き物の関わり合いについて、できるだけ自分の言葉でまとめさせていく。</p>	[読①] 教材文の中のどんな生き物が、どのように関わり合っているか、ワークシートにまとめている。(ワークシート、発言)
ひろげる	8 9	他の生き物の関わり合いについて図鑑や本などで調べ、カードにまとめることができる。	<p>みんなで「海の生きもの図かん」を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の生き物に関する図鑑や本を探して読む。 ・知らせたいことを生きものカードに書く。 <p>※ 事前に関連する本をいくつか用意しておく。</p>	[読②] 図書資料の中から生き物に関する本を選び、読んでいる。(観察) [書①] [言①] 事柄の順序、語と語や文と文との続き方、主語・述語の関係に注意しながら、カードにまとめている。(生きものカード)
	10	発表会を開き、友達に紹介することができる。	<p>「海の生きもの図かん」のはっぴょう会をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来上がった「海の生きもの図かん」を発表し合う。 <p>※ 友達の発表のよかったところを見つけながら聞くようにする。</p> <p>※ 相手に伝えようとする意識を持たせる。</p>	[関①] 聞き手に分かりやすく伝えまた話し手のよさを見つけている。(観察・発表)

5、本時の授業

(1) 目標

ホンソメワケベラと大きな魚たちとの関わり合いを読み取ることができる。

(2) 展開 (□ は中心発問)

段階	学 習 活 動	支 援 と 評 価	備考
つかむ (5分)	1、前時の学習内容を想起する。 2、本時の学習課題を確かめる。 ホンソメワケベラと大きな魚たちは どんなかかわり合いをしているので しょうか。	・イソギンチャクとクマノミの関わり合いを想起させる。 ・前時と同様に、ホンソメワケベラと大きな魚たちのしていることを読み取り、関わり合いを明らかにすることを確かめさせる。(読みの方法)	ワークシート 掲示物
ふかめる (33分)	3、学習範囲を音読する。(⑦.⑧.⑨) 4、体の特徴を読み取る。 ・ホンソメワケベラの特徴が書かれているところにサイドラインを引く。(一人学び) 5、ホンソメワケベラと大きな魚の関わり合いを考える。 ・ホンソメワケベラが大きな魚にしていることが書かれているところにサイドラインを引く。(一人学び) ・大きい魚がしていることはなにかを考える。 ・ペアで、ペープサートを使って動作化する。(学び合い) ホンソメワケベラと大きな魚たちは どんなかかわり合いをしているので しょうか。 ・かかわり合いを話し合う。(学び合い) ・吹き出しにホンソメワケベラと大きな魚の気持ちを書き、発表し合い、かかわり合いを確かにする。 5、課題についてまとめる。 ・6段落と比較をし、かかわり合いをワークシートにまとめ、発表し合う。 6、学習範囲のまとめの音読をする。	・関わり合いが書かれてある文を探しながら音読させる。(読みの視点) ・文章と写真を結びつけながら、サイドラインを引かせる。 ・文章と写真を結びつけながら、サイドラインを引かせる。 ・「～からです。」の文末表現に着目させ、していることを理由づけ、かかわりを読み取る手立てとする。 ・写真と主語と「～からです。」の理由から、大きな魚が何をしているのか考えさせる。 ・ペアで動作化することによって、相互のかかわり合いについて考えさせる。机間巡視をしながら、支援をする。	写真 掛図 写真 掛図 ペープサート
		読①ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを読み取り、ワークシートにまとめている。(ワークシート、観察、発言)	
		A	B
		ホンソメワケベラと大きな魚の関わり合いを具体的な行動を捉えて読み取り、まとめている。	ホンソメワケベラと大きな魚の関わり合いを読み取り、まとめている。
		努力を要する児童への手立て	
		主語・述語やわけが書かれている文に気をつけて読ませ、関わり合いを読み取らせる。	
まとめる (7分)	7、本時の学習を振り返る。 ・自己評価を行う。 ・本時の学習の感想を発表する。 8、次時の学習内容を知る。	・ホンソメワケベラと大きな魚たちの関わり合いが分かったか、◎○△で評価させる。 ・二行程度の文で、わかったことや友達の考えから学んだことなどをまとめさせる。	

(3) 板書計画

だいじなところに 気をつけて読もう

サンゴの海の生きものたち

もとかわ たつお

⑦
⑧
⑨

ホンソメワケベラと大きな魚たちは、どんなかわり合いをしているのでしょうか。

ホンソメワケベラの
とくちよう

- ・ 明るい青色の体
- ・ 黒いすじ
- ・ 十二センチメートル

大きな魚たちの
とくちよう

- ・ 口が大きい
- ・ 体が大きい

おたがいに

やくにたっている
たすけあっている
なかよくしている

大きな魚たち

まとめ

こうして、ホンソメワケベラと大きな魚たちは、たがいに、たすけ合っているのです。

大きな魚たちは

- ・ 口をあけている。
- ・ ホンソメワケベラを食べない。
- ・ じつとうごかない。

ホンソメワケベラ
そうじ魚

- ・ そうじをしている。
- ・ 虫をとっている。
- ・ きれいにしている。

6、座席表

黒 板		

7、補助教材

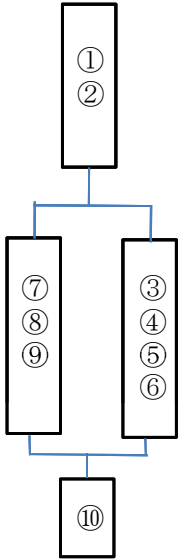
- ・ 学研の図鑑 「魚」「貝」「水の生物」 (学研)
- ・ クローズアップ図鑑 「海辺の生きもの」「潮だまりの生きもの」「さんごしょうの生きもの」 (岩波書店)
- ・ 科学のアルバム 「サンゴ礁の世界」「いそべの生物」「海の貝」 (あかね書房)
- ・ こどもずかん「うみのいきもの」 (ひかりのくに株式会社)
- ・ 絵本図鑑シリーズ 「海のさかな」 (岩崎書店)

他

8、教材分析表

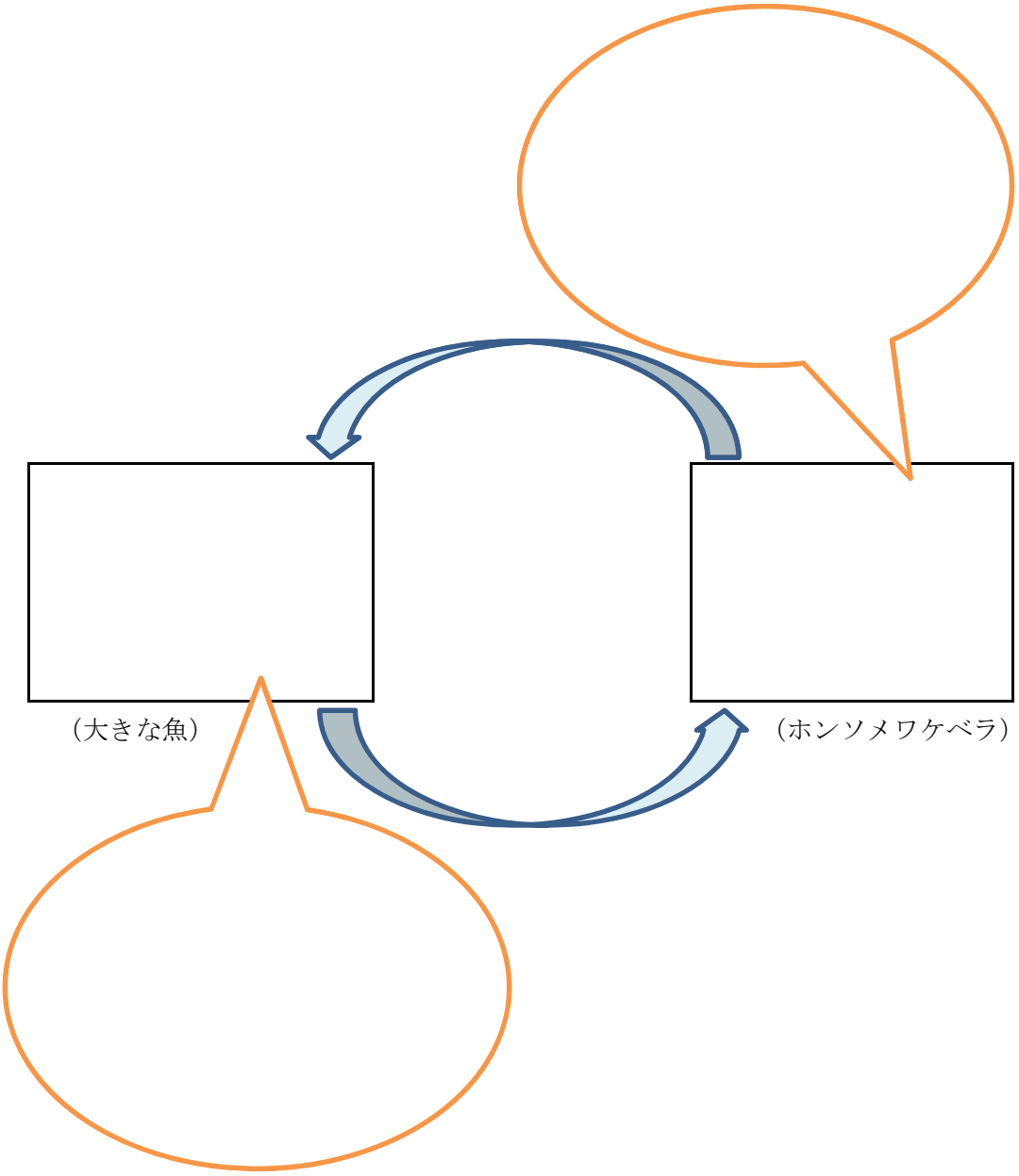
サンゴの海の生き物は、互いに関わり合って暮らしている。										要旨
終わり	中						初め			
まとめ	具体例 2			具体例 1			提示 話題			段落 意味
⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	段落 形式
このように	でも	この でも	その	この こうして	だから	これで でも これが	その	どんな	それらの	接続語 指示語
このようにサンゴの海では、生き物たちがかかわり合って暮らしている。	ホンソメワケベラが掃除した虫は食べ物になる。	大きな魚がホンソメワケベラに掃除をしてもらう様子。	ホンソメワケベラの体の特徴。	イソギンチャクがクマノミに守ってもらう様子。	クマノミがイソギンチャクに守ってもらう様子。	イソギンチャクとクマノミの体の仕組み。	イソギンチャクとクマノミは一緒に暮らしている。	生き物たちの関わり合いを見してみよう。	サンゴの海には、互いに役に立つように関わり合って暮らしているものがある。	要 点
たくさんの生き物たち さまざま かかわり合って	とった虫が食べ物 そうじ魚	大きな魚たち 体や口についた虫 そうじしてくれる	小さな魚 ホンソメワケベラ	うつくしい魚 たがいにまもり合う	大きな魚 近づいてきません あんぜん	ねばねばしたえき さされないひみつ	どくのほり クマノミ	しよく手 オレンジ色 イソギンチャク	サンゴの海 たがいに やかに立つ かかわり合って どんな生き物たち どんなにかかわり合い	大事な言葉

9、文章構成図



だいたいなところを 気をつけて読もう
サンゴの海の生きものたち

どんななかかり合いをしているのでしょうか。
と
は、
名前（)



まとめ
こうして、
たがいに、
は
と

☆ かんそう

★ 今日の学習をがんばれましたか。 ◎ ○ △
★ かかり合いがわかりましたか。 ◎ ○ △